

株主メモ

事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 | 毎年6月

基準日 | 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

株主名簿管理人
 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第二部

証券コード | 4462

公告方法 | 電子公告により行う。
 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載
 しており、そのアドレスは次のとおりです。
<http://www.unicon.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

(ご案内)

少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
 新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「基準日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けてください。
 また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。
 NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 4462

いいかぶ

空メールによりURL自動返信
 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から抽選で得謝(図書カード500円)を進呈させていただきます**

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
 [e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com



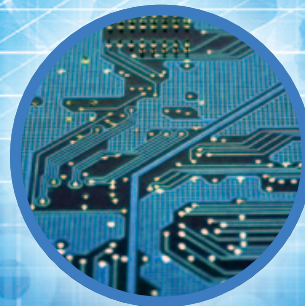
当社ホームページにおきましても、最新のトピックスをはじめとして、IR情報や会社情報、製品情報など様々な情報をご案内しております。

インターネットホームページアドレス

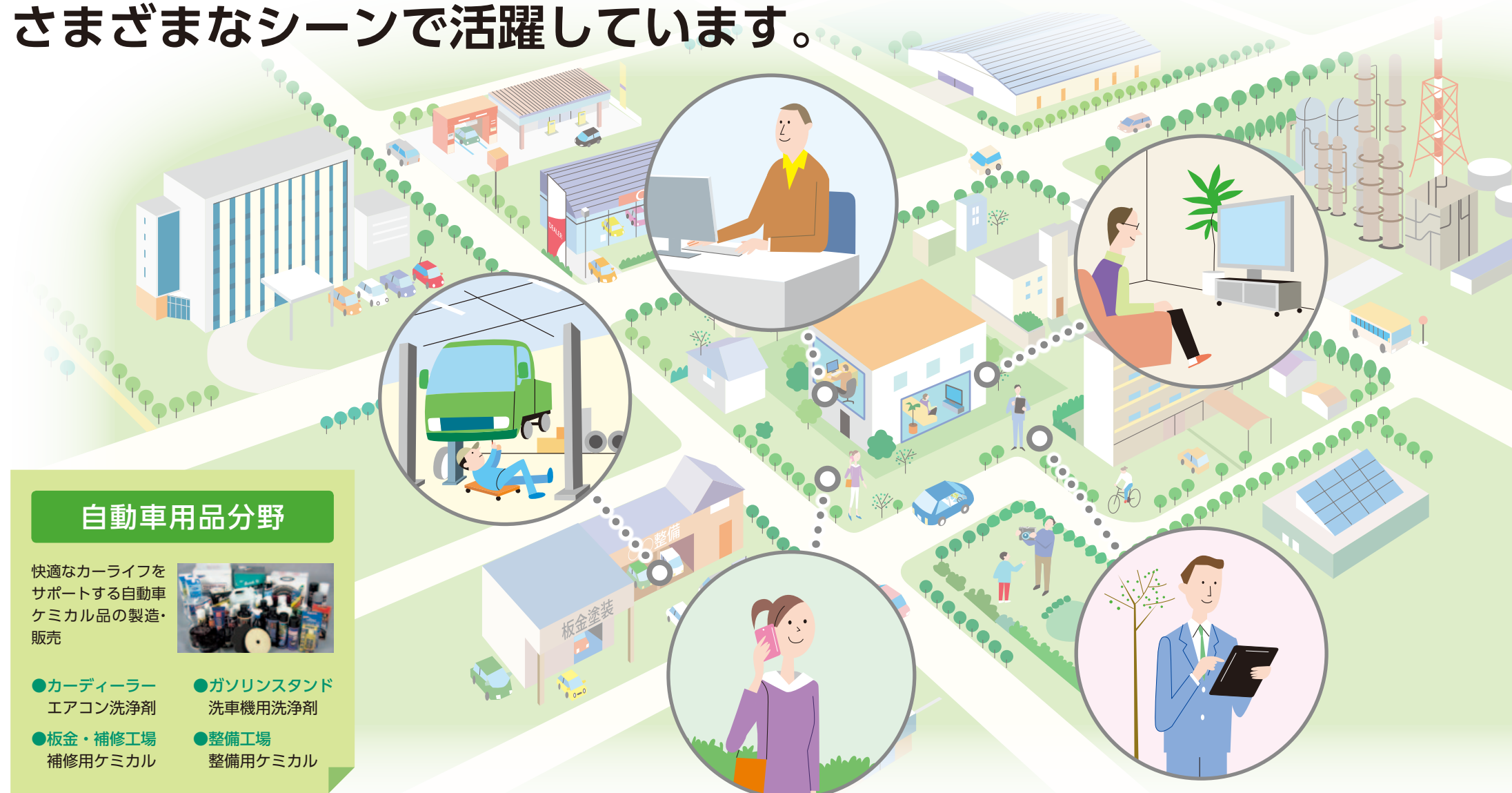
<http://www.unicon.co.jp/>

第77期 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日



石原ケミカルの技術や製品は、身近な電子 機器・自動車用品など、さまざまなシーンで活躍しています。

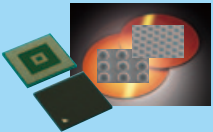


工業薬品分野


鉄鋼、化学、環境・公共事業分野等に薬剤の提案、付加価値の高い商品開発など、コーディネーター的役割を果たす提案開発型商社

電子関連分野

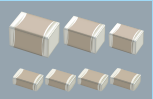
金属表面処理剤


 スマートフォンやタブレット端末などに使用される電子部品の表面処理に用いられるめっき液を製造・販売

機器等

 化成処理液自動管理装置及び試薬を製造・販売

電子材料

 セラミックコンデンサの電極材の仕入・販売

 セラミックス、エンブラ樹脂等の加工部品の製造・販売

自動車用品分野

快適なカーライフをサポートする自動車ケミカル品の製造・販売



- カーディーラー エアコン洗浄剤
- ガソリンスタンド 洗車機用洗浄剤
- 板金・補修工場 補修用ケミカル
- 整備工場 整備用ケミカル

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第77期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の業績ならびに事業の概況についてご報告させていただきます。

当期におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな景気回復が見られますが、消費税の引き上げや円安に伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、販売強化や研究開発の促進に努めました。中核事業の金属表面処理剤及び機器等セグメントの伸び悩みにより、当期業績は、売上高15,702百万円(前年比4.1%減)、営業利益846百万円(同2.8%増)、経常利益974百万円(同1.9%減)、当期純利益685百万円(同2.4%増)となりました。

代表取締役社長 時澤 元一



Q | 当期の業績について、総括をお願いいたします。

A | 全体として伸び悩んだものの、電子材料・自動車用化学製品等・工業薬品の各セグメントは堅調でした。

当社の柱である金属表面処理剤及び機器等セグメントは、主力製品の金属表面処理剤が国内外ともに伸び悩みました。とくに海外における一部の大口ユーザーの業績不振が大きく、全体の業績に影響を与えました。

一方、電子材料、自動車用化学製品等、工業薬品の各セグメントは、いずれも前期を上回る業績をあげております。中でも自動車用化学製品等セグメントのエアコン洗浄剤は、大幅に伸長いたしました。

Q | 次期の見通しと計画されている取り組みをお聞かせください。

A | 金属表面処理剤及び機器等セグメントは、海外市場開拓をさらに推進し、巻き返しを図ります。

当期の巻き返しを図る金属表面処理剤及び機器等セグメントは、海外市場の開拓をさらに進め、高付加価値製品を積極的に展開する計画です。また、ユーザーへの迅速な対応、技術サポート向上等により、差別化をはかり、売上を拡大してまいります。電子材料セグメントは、好調が予想される半導体・液晶製造装置業界を中心に展開し、また、新規電子材料を市場投入し売上拡大をはかります。自動車用化学製品等セグメントについては、引き続きエアコン

フィルター交換とエアコン洗浄を同時施工するビジネスを提案し、需要の拡大を目指します。工業薬品セグメントは、大手鉄鋼メーカーを中心に基礎薬剤のシェア拡大とともに新規テーマの発掘に努めます。以上の各セグメントの取り組みにより、次期(平成28年3月期)の業績は、売上高15,810百万円(前年比0.7%増)、営業利益950百万円(同12.3%増)、経常利益1,030百万円(同5.7%増)、当期純利益730百万円(同6.6%増)を見込んでおります。

Q | 当期の配当金ならびに株主還元の方針についてお聞かせください。

A | 安定的・継続的な配当を基本とし、業績に応じた弾力的な還元策を方針としております。

当社は、自己開発・商品開発・市場開発の「3つの開発」を企業理念とし、ニッチ市場における高い市場占有率を維持する中で、各事業分野をバランスよく展開し、業績の伸長をはかっていくことを経営の基本方針としております。利益剰余金の取り扱いにつきましては、株主様への還元を重視し、その上で研究開発や新規事業、新技術開発など、将来の企業価値向上につながる投資を前提に内部留保の充実に

努めてまいりました。この方針は今後も変わることなく、株主様への還元につきましては、安定的・継続的な配当を基本とし、業績に応じた増配を検討するなど弾力的な方針をとっております。なお、当期末配当は1株当たり15円とさせていただきます。年間配当金は中間配当15円と合わせ30円となります。

中長期的な会社の経営戦略

世界に通用する製品、技術、サービスを創造しグローバル化に対応できる企業を目指し、更なる成長を遂げ次のステージに前進するために右記の取り組みを推進してまいります。

- 1 新製品開発、新技術開発のため研究開発投資を積極的に行い、新製品、新市場を開発し業容の拡大をはかってまいります。
- 2 基礎となる3つの分野(電子関連分野・自動車用品分野・工業薬品分野)と4つの事業(電子関連分野における金属表面処理剤及び機器等、電子材料、自動車用化学製品等、工業薬品)をバランスよく展開し、各々の事業の収益力を高め、その総体として会社の業績の伸長をはかってまいります。
- 3 自社製品比率を高め、売上総利益の拡大をはかり収益力の高い会社を目指します。
- 4 電子材料関連分野を重点開発分野と位置づけ、第5の事業を育成いたします。

目標とする経営指標

- 1 売上高経常利益率10%以上を目標といたします。
- 2 ROE(自己資本利益率)・EPS(1株当たり当期純利益)の向上をはかってまいります。

		24/3	25/3	26/3	27/3
売上高経常利益率	(%)	4.7	5.0	6.1	6.2
ROE	(%)	2.8	2.7	4.7	4.6
EPS	(円/株)	50.09	49.72	89.64	91.84

会社の対処すべき課題

当社は、4つの事業をバランスよく展開し、安定的な業績の向上を目指しております。当面の課題は、次のとおりであります。

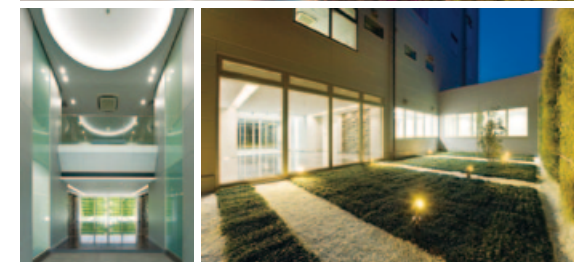
- 1 第5の事業の柱として、金属ナノ粒子等新規電子材料の事業化を加速いたします。併せて既存事業の安定的な生産体制の維持のため生産場所の分散および生産能力の増強をはかります。
- 2 コストダウンをさらに推し進めるとともに利益率の高い製品の売上を伸ばし、売上総利益の拡大をはかります。
- 3 グローバル化による事業の海外展開に対応し、海外現地法人等の海外拠点の拡充と対応要員育成を促進いたします。
- 4 地震等の自然災害を含めた様々な事業のリスクに対して、リスクマネジメントの推進、事業継続計画(BCP)を見直し、継続的な改善を進め更なる危機管理体制の強化をはかります。

トピックス

神戸工場にウェハーのバンプめっき装置を導入いたしました。

神戸工場では、バンプめっき液の顧客が量産に使用しているウェハーのバンプめっき装置(実機)を導入いたしました。それによって、以下のことが可能になりました。

- 顧客の要求を満足する新製品の開発を迅速に行えます。
- 実機によるデータを提供することで、顧客への新製品の導入がスムーズに行えます。
- 顧客の状況に即した技術的なサポートが可能になります。
- 顧客のウェハーの試作対応が可能になります。



展示会出展のご報告

東京 SURTECH 2015
1/28~30



東京ビッグサイトにブースを開設

上海 SEMICON China2015
3/17~19



上海の会場にブースを開設

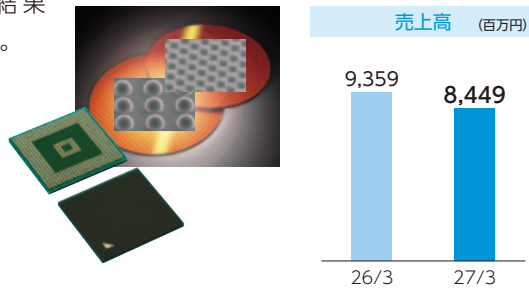
東京 JPCA Show2015
6/3~5



東京ビッグサイトにブースを開設

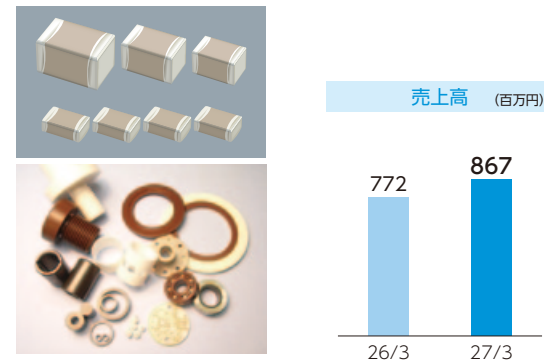
▶ 電子関連 (金属表面処理剤及び機器等)

金属表面処理剤は、国内市場においては、ユーザーの生産減に伴い、めっき液の需要が低迷いたしました。また、海外市場においては、スマートフォン、タブレットに搭載される先端電子部品用ウエハーバンプめっき液を中心に海外ユーザーへの拡販および他社介入防止に努めましたが、一部大口ユーザーの販売不振の影響が大きく、前年を下回る結果となりました。化成処理液自動管理装置等は、スマートフォン、タブレット向けプリント基板、タッチパネル関連ユーザーへの管理装置、試薬の拡販に努めた結果、前年を上回る結果となりました。



▶ 電子関連 (電子材料)

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況が回復してきたことにより、前年を上回る結果となりました。一方、機能材料加工品は、半導体製造装置関連の大口ユーザーを中心に順調に推移し、前年を上回る結果となりました。



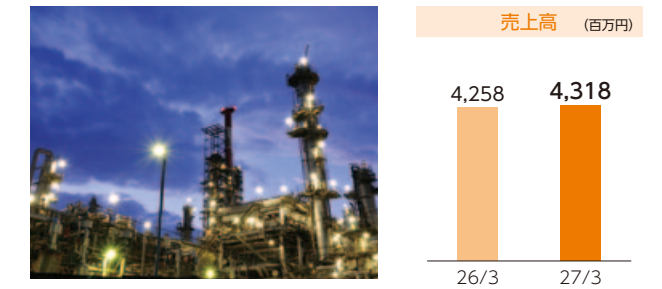
▶ 自動車用化学製品等

エアコンフィルター交換作業に合わせエアコン洗浄を同時施工するビジネスを継続して提案しカーディーラーの獲得および拡販により、エアコン洗浄剤が大幅な伸びを示しました。また、補修用コンパウンドは、新製品「FMCマイスターコンパウンドシステム」を投入した結果、順調に推移いたしました。



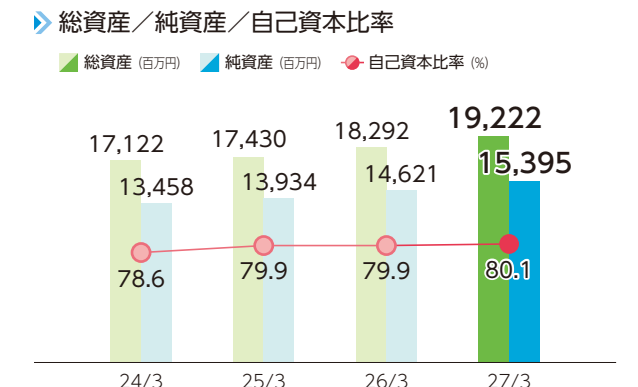
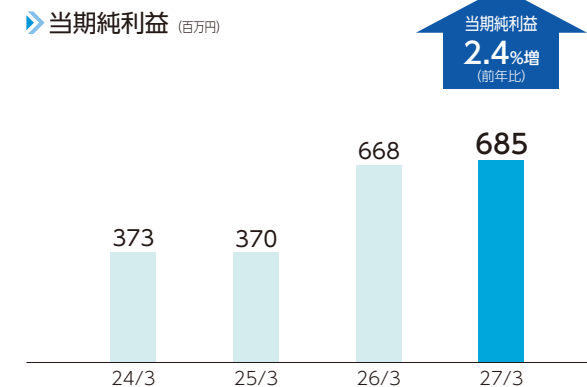
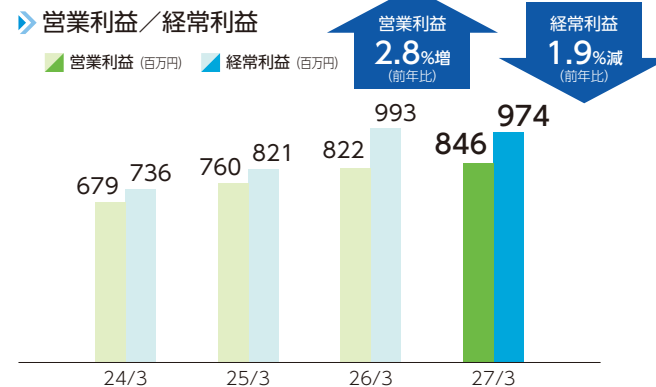
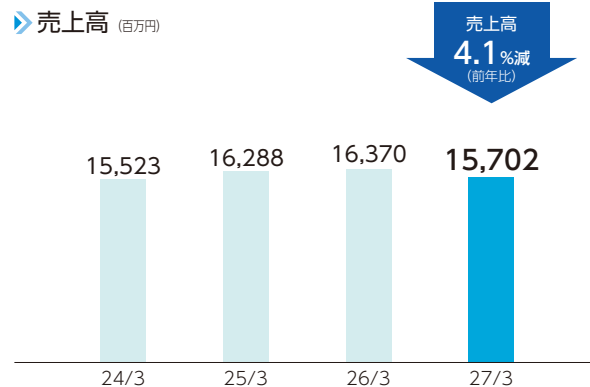
▶ 工業薬品

工業薬品は、高級鋼板向け特殊薬剤の需要先の使用量削減の影響があったものの、下期にかけて苛性ソーダのシェアアップ、円安による化学メーカー向け触媒の受注および浴用剤向け原料の市場拡大などがあり、概ね順調に推移いたしました。

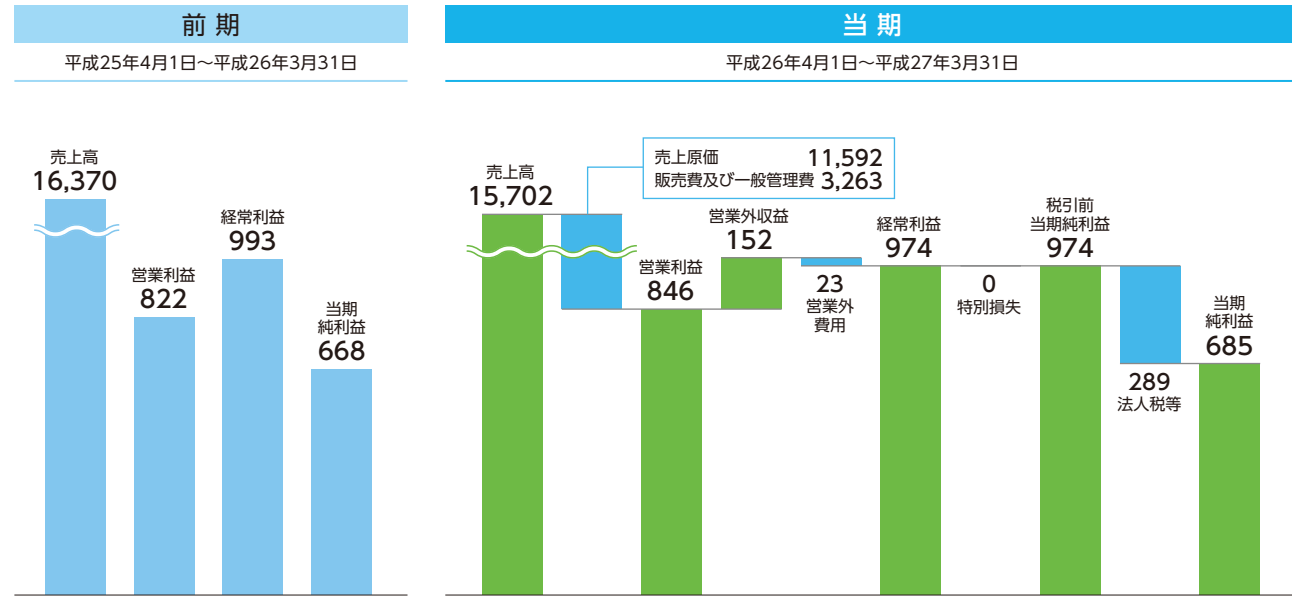


財務ハイライト

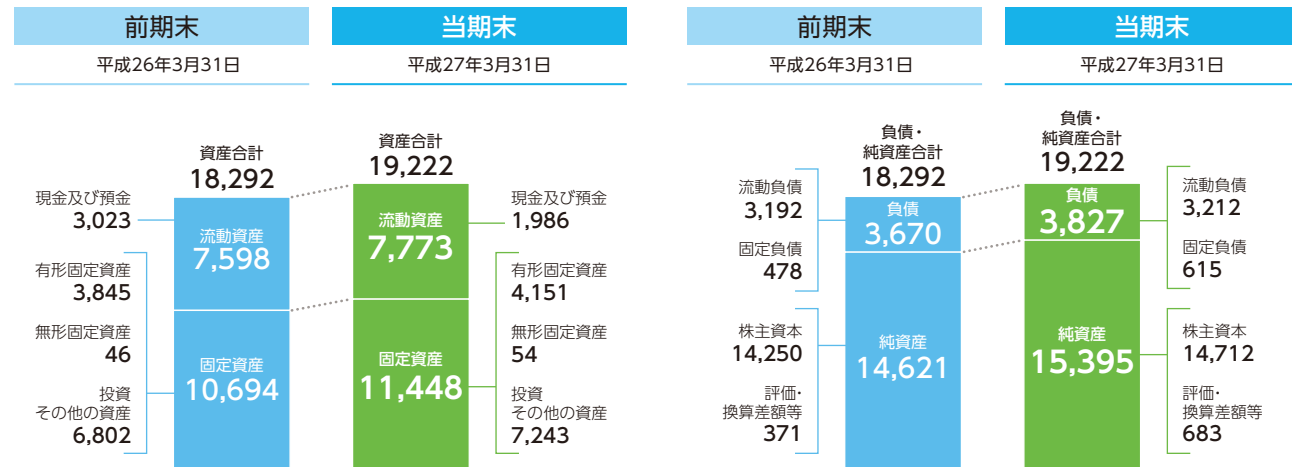
FINANCIAL HIGHLIGHTS



損益計算書の概要 (単位:百万円)



貸借対照表の概要 (単位:百万円)



会社概要

商号 石原ケミカル株式会社
 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.
 創業 明治33年4月15日
 設立 昭和14年3月3日
 資本金 14億4千7百28万円
 従業員数 200名

事業所

本社 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
 東京支店 東京都台東区台東2丁目26番11号
 滋賀工場 滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1
 神戸工場 神戸市西区室谷1丁目6番2

役員

代表取締役会長 竹森莞爾
 代表取締役社長 時澤元一
 専務取締役 酒井保幸
 常務取締役 浅野真祥
 取締役 大内竹司
 取締役 田山衛
 取締役 越山剛延
 常勤監査役 山本一
 監査役 菱田茂
 監査役 岡本君平

主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面处理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 15,650,000株
 発行済株式の総数 7,460,440株
 株主数 1,877名
 単元株式数 100株

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
石原ケミカル取引先持株会	552(千株)	7.40(%)
日本生命保険相互会社	379	5.08
株式会社三井住友銀行	346	4.64
石原ケミカル従業員持株会	231	3.09
株式会社みずほ銀行	223	2.99
第一生命保険株式会社	211	2.82
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.80
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	186	2.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	175	2.35
株式会社池田泉州銀行	160	2.14

(注)持株比率は自己株式(290株)を除いて計算しております。

株主ご優待情報

当社では、株主の皆様のご厚情に対するささやかな感謝のしるしといたしまして、株主優待制度を実施しております。

対象 決算期日(3月31日)時点の当社株主名簿に記載された500株以上保有の株主の皆様
 内容 株主総会終了後(6月末～7月初旬)、次の基準の保有株式数に応じて、グルメギフトを贈呈させていただきます。



保有株式数	優待内容
500株以上1,000株未満	グルメギフト (3,000円相当)
1,000株以上	グルメギフト (10,000円相当)